

～枕崎市教育委員会だより～



TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会

枕崎市中央町 184 番地

TEL 0993-72-0170

FAX 0993-72-0677

巻頭言

秋の日の美術室

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

10月の後半に入ってすぐに秋雨前線が停滞・通過し、くもりや雨の日が続いた。その後、最高気温も 25℃前後に落ち着き、記録的に暑かった夏がようやく終わり、秋本番となりつつある。待ちに待った、秋が来た。

10月は、市内の小学校の運動会や市民運動会などスポーツに関係する行事が続いた。いずれも好天に恵まれ、絶好の運動会日和。グラウンドには子供たちや市民の歓声が響いていた。もうしばらくすると訪れる11月は、過ごしやすい気候となり、更に秋も深まる。文化の秋に相応しく、文化祭や芸能祭、音楽の演奏会などが多数計画されている。また、本市の小・中学校や PTAでも研究公開が予定され、秋の行事も目白押しで今から楽しみだ。

ところで、秋になれば思い出すことがある。それは、中学生の頃、美術の授業で教わったことだ。「絵を描くときに現地に行って描いたものと写真を見て描いたものとは、でき上がった絵から受ける印象が自然と異なる。実際の風景を見て、鳥のさえずりを聞き、草のにおいを嗅ぎ、そして肌で風を感じる。そうした全身に感じたことを描く者がキャンバスに描き出してこそ作品に魂が込められ、観る者の心に深く残る」というのである。

その授業で見たのは、先生が描かれたアメリカとカナダの国境にあるナイアガラの滝の絵だった。写真と見比べたが、高いところから滝つぼに水しぶきを上げ、落下していく滝の様子は、絵のほうが何倍も迫力があり、臨場感があったのだ。一方、写真は、テレビや教科書等で見るものと同じ印象で、あまり感動しなかった。先生の絵と対峙すると今にも滝の音が聞こえ、＋水しぶきを浴びているような感覚となり、言葉を失うほど衝撃を受けた。

昨今は、インターネット等が発達し、全世界に存在する文化財や遺産、名勝等を即座に見聞できる。例えば、世界遺産や大自然の風景がテレビやパソコンの画面で映し出されると、その壮大さに思わず目を見張ることがある。しかし、どんなに鮮やかに映し出す性能の高い8Kの映像でも、直接現地に行き、そこに立って直に実感するほどの迫力は決して伝えられない。

このことは私たちの日常でも言えるだろう。物の真髄を知るためには、いわゆるアンテナを高くし、五感を働かせ、実際に味わうことが欠かせない。何事においても直接見て、聞いて、触れてみなければ分からないものや現地や現場でしか感じられないものがある。メディア等から一方的に流れてくる情報の多い社会に慣れてしまっている私たちは、本物や物事の本質に気付かず、漫然と生活し、大切なことを見逃してしまっているのかもしれない。

ちょうど今頃の季節の秋の日の美術室で身をもって実感した絵画と写真の違い。50年経った今でも鮮明に思い出せる衝撃的な感動。爽やかな秋の日の美術室で得たあの時の経験を活用し、今後も間接的に見たり聞いたりしただけで、分かったつもりになっていることはないか自問しながら、実感することを大切にしていきたい。

11月の行事予定

日	曜	行 事
1	土	地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日) 文化財保護強調週間(県下全域～7日)
2	日	
3	月	文化の日 第59回市総合文化祭「市民芸能祭」(市民会館)
4	火	図書館休館日 公民館運営審議会 定例教育委員会
5	水	市進路指導主任研修会
6	木	県中学校駅伝大会 県外国語指導助手指導力等向上研修(カフィックス交流センター ～7日)
7	金	
8	土	土曜授業
9	日	
10	月	図書館休館日・残食調査(～14日) 市小・中連携研究公開(別府小・中)
11	火	枕崎校区地域学校協働活動推進委員会② 地区館連絡会⑧ 市民会館・地区館避難通報訓練
12	水	県大学講座 南薩地区文化財巡回視察(南さつま市)
13	木	桜山校区地域学校協働活動推進委員会②
14	金	市民あいさつ運動 県小・中学校長研究大会(宝山ホール他)
15	土	市P連活動研究委嘱公開(別府中)
16	日	家庭の日・市民会館休館日
17	月	図書館休館日 別府高齢者学級市外研修 市学校保健会研究協議会
18	火	立神校区地域学校協働活動推進委員会② 市子連理事會③
19	水	学校備品廃棄 県図書館大会(カフィックス交流センター) 県公立小・中学校教頭会研究大会(ウェルビュー)
20	木	市校長研修会⑥ 19市社会教育・生涯学習主管課長会議(枕崎市市民会館)
21	金	19市社会教育・生涯学習主管課長会議(枕崎市市民会館)
22	土	南薩地区地域植樹祭
23	日	勤労感謝の日 ふれあい図書館まつり
24	月	振替休日
25	火	図書館休館日 市生活指導連携協議会②・校外生活指導連絡会② 交通安全事故防止対策連絡会② 二十歳のつどい実行委員会③
26	水	学校備品廃棄(予備日)・館内整理日(図書館) 体力向上マネジメント指導者養成研修(オンライン)
27	木	定例教育委員会、図書館館内整理日 県租税教育研究会(サンエール) 別府校区地域学校協働活動推進委員会②
28	金	社会教育功労者選考委員会 青少年健全育成表彰選考会 南薩地区養護教諭等研修会(南九州市) 第2回南薩地区小・中・義務教育学校事務職員研修会(南さつま市)
29	土	県PTA研究大会・県PTA活動研究委嘱公開(長島町)
30	日	ふるさと美化活動 川込駅伝競走大会(吹上浜海浜公園)

枕崎市学校音楽祭

22日(水)に、枕崎市の全小中学校の代表児童生徒が参加する「学校音楽祭」が実施されました。300人を超える児童生徒が市民会館に集まり、合奏や合唱など、日頃の成果を発表しました。あいにくの天気にも関わらず、多くの来賓や保護者の皆様に御来場いただきました。最後には、全員で「枕崎市民歌」を合唱しました。生まれ育った町の歌を、声高らかに歌い上げる児童生徒の姿を見ると、これからの枕崎が楽しみになります。次の音楽祭では、どのような歌声を聞かせてくれるのでしょうか。来年の発表が今から楽しみです。



「リズムな
ぎなた」とい
う、合唱に合
わせたなぎな
たの演武もあ
りました！

小学生も一生懸命
に歌ったり演奏した
り頑張りました！



「枕崎市民
歌」の合唱
は、児童生徒
だけでなく、
観覧した皆様
も一緒に歌い
ました！



読書感想文審査会

読書感想文の審査会がありました。各学校から、たくさんの力作の応募がありました。

学校名	特選数(応募数)	学校名	特選数(応募数)
枕崎小	3(19)	枕崎中	2(9)
桜山小	2(6)	桜山中	2(4)
別府小	2(5)	別府中	1(3)
立神小	4(7)	立神中	1(5)
枕崎高	1(2)	鹿水高	1(2)

小学校運動会視察

5日(日)に市内4校の小学校で運動会が開催されました。30℃を超える10月とは思えない暑さの中でしたが、子供たちは、かけっこやリレー、表現運動、応援団などに一生懸命に取り組みました。保護者や地域の方々も頑張る子供たちに温かい声援と惜しみない拍手を送っていました。まさに、「運動の秋」にふさわしい爽やかな一日になりました。



SOS 出し方教育・受け止め研修

SOSの出し方教育とは、児童生徒自身が「助けを求める力(援助希求行動)」を身に付けることを目的に、講師をお招きして毎年実施している活動です。今年度も、高橋聡美先生から児童生徒や教職員、保護者を対象に授業や研修をしていただきました。

SNSや家庭環境の変化により、悩みを抱えても誰にも言えない子が増えてきています。児童生徒がSOSを出す力を身に付けることも大切ですが、教職員や保護者、地域の方々が、児童生徒がSOSを出しやすい環境を作り、気付き、適切に対応する力をもつことも大切です。地域ぐるみで児童生徒を包み込み、支援していきましょう。

～シリーズ特別支援教育～「学習に課題がある場合」

学習が苦手だからといって、そのすべてが知的障害とは限りません。様々なケースが考えられます。たとえば、字を読む、書くことが苦手なために学習が苦手なパターン。聞いたことを覚えることが苦手なため、教師の話を理解できていないと誤解されてしまうパターン。数字の扱いや、計算ができず、算数だけが苦手なパターンなど、特定の課題がある場合が想定されます。

学習に課題がある場合は、何が苦手か分析し、苦手を適切に支援することが大切です。まずは、学校に相談してください。学校の先生と一緒に、「どこが苦手なのか」「どうすればできるようになるか」をゆっくり考えてみましょう。教えることの「プロ」である先生を活用してください。